

はんだ市報

令和元年
(2019)
8/1
No.1495
1日・15日 合併号

半田版

情熱、蔵出し。
半田市。

—今月号の紙面—

ピックアップ情報	2
市政ニュース	3
情報コーナー	6
開館情報、当番表	16
大作戦レポート	17
子育てひろば	18
はんだ蔵のまち 夏まつり	20

はんだ市報の 表紙を新聞風に

はんだ市報 8月1日号は、みなさんに総合計画について幅広く知ってもらうために、新聞風の表紙にて情報を伝えることにしました。

総合計画とは…

将来の都市像を明らかにし、その実現のために長期的展望に立った、総合的かつ計画的な行財政運営を図るための「まちづくりの指針」となる最上位の計画。各種の行政施策は、総合計画をもとに進められています。

8月31日開催 まちづくり市民会議公開講座



—講師—

たかぎ あきよし
高木 朗義 氏
(岐阜大学教授)

日時：8月31日(土)
開会9時30分
(開場9時)
閉会11時30分

会場：市役所
大会議室(4階)

はんだの未来を
みんなで作ろう

半田市は、第7次半田市総合計画の策定事業の一環として、まちづくり市民会議を開催する。8月31日(土)に開催する第1回は、誰でも参加できる公開講座とする。「はじめよう まちづくりの話」と題し、まちづくりに造詣が深く、テレビやラジオなどにも多数出演している岐阜大学教授の高木朗義氏による講演のほか、ワークショップを行う。市の担当者は、「市民一人ひとりが未来のはんだについて考えるきっかけとして、老若男女さまさまな方に参加ほしい」としている。参加申込は不要。ただし、未就学児の託児が必要な場合は、8月19日(月)までに企画課(☎0605)へ申込が必要。

第7次総合計画の策定始まる



半田市では、第6次半田市総合計画の計画期間が満了となることに伴い、令和3年度から始まる新たな総合計画(第7次半田市総合計画)の策定に取り掛かっている。総合計画は、長期的なまちづくりの指針として策定するもの。策定作業は、令和元年度から2年度の2か年で行い、策定にあたっては、庁内組織のほか、総合計画審議会や市民アンケート、市民会議などで広く市民の声を聴く。

情熱、
蔵出し。
半田市。